

**石原 美和**（実践教育センター，保健福祉学部，大学院保健福祉学研究科兼務）

## 2 学術論文

- 1) 坂東志乃，石原美和，徳永幸之．（2020）．在宅医療資源整備状況等の自治体間比較分析：地域資源による類型間の違いに着目して（査読付き論文）．東北計画行政研究，5，21-24．
- 2) 作田竜一，木村眞子，橋本陽介，庄子真樹，石原美和．（2020）．農業分野における ICT を活用した重度身体障害者の就労可能性—知識集約型産業としての農業の新たな担い手に関する考察．（査読付き論文）．農業経済学会誌，（6月発刊）．
- 3) 石原美和．（2021）．実践教育センターの現状と課題そして将来展望，神奈川県立保健福祉大学誌，18(1)，3-8．
- 4) ハッ橋のぞみ，石原美和．（2021）．新型コロナウイルス感染症神奈川県対策本部転院搬送調整班における看護師の活動の考察，神奈川県立保健福祉大学誌，18(1)，103-109．

## 3 その他の著作

- 1) 山辺智子，安藤眞知子，石原美和，佐藤美穂子，平原由美．（2020）．公益財団法人ユニベール財団 2018 年度研究助成研究報告書：療養通所介護および児童発達支援等の実態調査：障害児者および要介護高齢者等の全年齢層を対象とした通所事業の充実，学術雑誌：豊かな高齢社会の探求調査研究報告書 28，1p，1-14．
- 2) 石原美和，島田恵，八鍬類子．（2020）．藤谷順子（研究代表者），非加熱血液凝固因子製剤による HIV 感染血友病等患者の長期療養体制の構築に関する患者参加型研究に関する研究班報告書：石原美和（研究分担者），HIV/AIDS 患者の精神健康と認知された問題の変遷 25 年間の縦断的研究．<http://kyusai.acc.go.jp/pdf/ishiharaR1.pdf>

## 4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 日本赤十字看護学会 将来構想委員，2018. 11. ～2021. 3.
- 2) 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所戦略的イノベーション創造プログラム (SIP) 「AI (人工知能) ホスピタルによる高度診断・治療システム」倫理的法的社会的課題委員会委員，2019. 4. ～2021. 3.
- 3) 神奈川県教育委員会神奈川県立二俣川看護福祉高等学校運営協議会委員，2020. 6. ～ 2021. 3.
- 4) 公益社団法人神奈川県看護協会将来構想策定委員会委員長，2020. 7. ～2021. 3.
- 5) 厚生労働省医政局看護課，「看護教員等養成支援事業（通信制教育）実施団体の公募に係る評価委員会」委員，2020. 6.
- 6) 厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課，「障害者支援施設及び障害福祉サービス事業所等における感染症対策向上支援業務一式」に関わる技術評価委員，2020. 8.
- 7) 一般社団法人全国訪問看護事業協会，訪問看護師による認知症高齢者と家族の支援に関する調査研究事業検討会（厚生労働省老人保健健康増進等事業）委員長，2020. 8. ～2021. 3.

- 8) 国立研究開発法人国立国際医療開発研究センターエイズ治療・研究開発センター  
客員研究員, 2020. 10. ～2021. 3.

## 5 社会貢献

- 1) 日本赤十字看護大学看護学研究科博士前期課程非常勤講師「基礎看護学特講IV」, 2015. 4. ～2021. 3.
- 2) 群馬県立県民健康科学大学看護学研究科博士前期課程非常勤講師「看護政策管理学特講」, 「保健医療組織管理学特講」, 「保健医療組織管理学特講」, 2016. 4. ～2021. 3.
- 3) 秋田大学看護学研究科博士前期課程非常勤講師「看護政策論」, 2020. 4. ～2021. 3.
- 4) 特定非営利活動法人地域共生政策自治体連携機構介護サービス相談員現任研修講師「高齢者の感染症予防と熱中症予防」, 2020. 11.
- 5) 全国社会福祉協議会中央福祉学院社会福祉法人経営者研修会経営管理コース（厚生労働省委託研修）にて研修講師「福祉はコロナとどう向き合うか：感染防止対策と生活の質の確保」, 2021. 2.

## 7 学会等での活動

- 1) シンポジウム「HIV コーディネーターナース制度の創設と活用」, 「どのようにして HIV 医療体制がつくられたのか」. 第 34 回日本エイズ学会学術集会. WEB 開催. 2020, 11.

## 8 学内教育活動

- 1) 実践教育センター 認定看護管理者セカンドレベル実践発表会アドバイザー.
- 2) 実践教育センター担当科目は, 令和 2 年度は休講. そのため, ヘルスイノベーション研究科島岡教授と合同企画で, デザイン思考ワークショップを開催. 従来, 講義時間の多い学部教員に対してヒアリングを行い, カリキュラムや授業の改善に有益な知見を得た.
- 3) 実践教育センター教職員 FD を立上げ, 外部講師によるワークショップも含めて計 7 回開催した.
- 4) 保健福祉学部 看護学科 学部 4 年 「看護管理学」1 コマを担当
- 5) 保健福祉学研究科 博士前期課程保健福祉学専攻「看護管理学政策特論」1 コマを担当

## 9 学内各種委員会活動

- 1) 3 キャンパス合同の新型コロナ対策活動報告会の実行委員会を立ち上げ, 実行委員長として, 報告会を企画・運営し, 教職員や学生へ周知を積極的に図った.
- 2) 新型コロナウイルス学内対策について, 全学教職員向けに, 感染管理専門家教員の説明会を開催し, 学内活動における感染対策の普及を図った.

## 10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 藤谷順子 (研究代表者), 石原美和 (研究分担者), 非加熱血液凝固因子製剤による HIV 感染血友病等患者の長期療養体制の構築に関する患者参加型研究に関する研究班, HIV/AIDS 患者の精神健康と認知された問題の変遷 25 年間の縦断的研究, 厚生労働科学研究費補助金 23, 000 千円 (令和 2 年度 1, 500 千円), 2018～2020.

- 2) 松永早苗（研究代表者）、石原美和（研究分担者）、感染症パンデミック発生時に国際援助を担う看護職の教育プログラム開発研究班、独立行政法人日本学術振興会科学研究費助成事業・基盤C一般4,300千円（主任研究者一括計上）、2018～2020.
- 3) 作田竜一（研究代表者）、石原美和（研究分担者）、一般財団法人新技術振興渡辺記念会科学技術調査研究助成ICTを活用した重度障害者の在宅就労を農福連携で実現する就労モデルに関する調査研究、1,000千円、（主任研究者一括計上）2019～2020.
- 4) 石原美和（研究代表者）、訪問看護ステーション等の地域における看護事業所の制度的基盤整備に関する研究、独立行政法人日本学術振興会科学研究費助成事業・基盤C一般、4,860千円、2019～2021.

#### 14 その他

- 1) 実践教育センター業務に係る総合的判断等の組織の統括のほか、県、機構、大学法人の3組織からの職員の人事管理に関する業務を遂行した。
- 2) 実践教育センター専任教員2名（学部兼務教員）について、採用委員会を開催して採用まで推進した。
- 3) 新型コロナウイルス感染拡大により、教育課程は5課程7コース、教育研修は7研修10講座を休止とし、次年度入学権利を付与する等の対応をした。
- 4) オンライン授業の導入やそれに伴うWifi環境の改善を図り、対面授業は感染防止対策に沿っての実施を監督した。
- 5) 県庁や大学本部からの要請に対して、感染管理専門家教員を県庁や病院等へ派遣した。また、搬送調整班、保健所、宿泊施設へ職員を派遣し、感染防止対策の推進や、感染者を医療サービスへつなげることに貢献した。